第4期 中間報告書

2019年4月1日▶2019年9月30日

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.

証券コード 2296

トップメッセージ

株主の皆様には日頃より当社をご支援賜りまして、誠にありがとうございます。この度の豪雨及び台風などの自然災害により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。
当社グループの第4期中間報告書（2019年4月1日から2019年9月30日まで）をお届けいたします。

代表取締役社長 宮下 功

当第2四半期の業績の概要

- ハム・ソーセージは、主力商品が堅調に推移した結果、販売数量、売上高ともに増加しました。
- 調理加工食品は、家庭用商品が好調に推移したことに加え、簡便調理を追求した商品が大きく伸長したことから、販売数量、売上高ともに増加しました。
- 食肉は、国内事業については、販売数量、売上高ともに増加し、海外事業については、アンズコフーズ社の調達及び販売環境の回復に加え、収益構造の見直しを図った結果、収益が大幅に改善しました。

伊藤ハム、米久の主要トピックスはP3-4へ

業績の振り返り

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな景気回復が続きましたが、米中通商問題、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等の海外経済の動向や消費税率引上げ後の消費者マインドの動向が経済に与える影響が懸念されるなど、先行きには不透明感が高まっております。

当業界におきましては、人手不足による人件費・物流費の上昇が続く中、食料品等の日常生活品に対する消費者の低価格志向は依然根強く、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて59億75百万円増加して4,324億円（前年同四半期比1.4％増）となりました。営業利益は、前年同四半期に比べて14億22百万円増加し、93億71百万円（前年同四半期比17.9％増）となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて16億90百万円増加し、102億96百万円（前年同四半期比19.6％増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて8億69百万円増加し、69億27百万円（前年同四半期比14.3％増）となりました。

財務ハイライト

（単位：億円）

「中期経営計画2020」～ネクストステージへ～

売上高1兆円、経常利益300億円、経常利益率3％以上を目指して、名実ともに食品リーディングカンパニーとなるためグループ一丸となって取り組んでおります。

（単位：億円）

売上高	10,000
経常利益	300
経常利益率	3.0％

売上高内訳　（単位：億円）

調理加工食品	2,000
ハム・ソーセージ	2,000
食肉	6,000

主要事業別の概況

加工食品事業

売上高 1,463億円　前年同期比 2.7％増

営業利益 36億円　前年同期比 0.9％増

●ハム・ソーセージは、テレビCMの投入や消費者キャンペーンの実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュ®シリーズ」「ポークビッツ」「御殿場高原®あらびきポーク」「原形ベーコンシリーズ」等の主力商品が堅調に推移した結果、販売数量、売上高ともに増加しました。

●調理加工食品は、消費者の簡便志向・健康志向に対応した提案を強化し、「ラ・ピッツァ」「ピザガーデン」「サラダチキン」「旨包ボリュームリッチハンバーグ」等の家庭用商品が好調に推移したことに加え、さらなる簡便調理を追求した「レンジでごちそう®シリーズ」が大きく伸長したことから、販売数量、売上高ともに増加しました。

食肉事業

売上高 2,839億円　前年同期比 0.8％増

営業利益 61億円　前年同期比 29.5％増

●国内事業は、新規取引先の獲得や国内生産者との連携強化とともに、オリジナルブランド等の付加価値の高い商品の拡販に努めて販売数量、売上高ともに増加しました。

●海外事業は、アンズコフーズ社の調達及び販売環境の回復に加え、収益構造の見直しを図った結果、収益が大幅に改善しました。

TOPICS 主要トピックス

伊藤ハム米久ホールディングスのトピックスを紹介します。

「伝承」特選ロースハム 特選ももハム

お歳暮は伊藤ハム、大切な方へ今年もギフトをお届けします

～「伝統」と「変化への対応」を柱にしたギフト戦略を展開します～

「伝承献呈」うす塩仕上げ

笠原将弘氏監修 和食ギフト

伊藤ハムは、今年も松本白鸚氏をイメージキャラクターに起用し、一貫したプロモーション戦略を展開することで、創業90余年にわたる弊社の「伝統」「歴史」「ハムづくりの想い」を、トップブランドである「伝承」を通じて、お客様に「大切な方への贈り物」にふさわしいギフトとしての魅力をお伝えいたします。また「伝承献呈」では、今中元より発売、ご好評をいただいた『うす塩仕上げ』のラインアップを拡大し、お客様の高まり続ける健康ニーズにお応えするハムギフトのトップブランドとして確立してまいります。

さらに調理品ギフトでは、ご好評いただいている笠原将弘氏監修による和食ギフトを調理品の柱とし、自家需要、簡便個食需要をターゲットに、季節感あふれるギフトセットで多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

CSR報告書2019を掲載いたしました

伊藤ハム・米久両社のこれまでの歩みや、CSR活動の取り組みをすべてのステークホルダーの皆様にご理解いただき、よりコミュニケーションを深めるために作成いたしました。当社グループのCSRの取り組みをESG（環境・社会・企業統治）の切り口で整理し、SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標と紐づけ掲載しています。当社グループは、事業活動とSDGsとの関連性を意識しながら、しっかりと企業の社会的責任を果たし、持続的な成長を目指してまいります。

「CSR報告書2019」は当社ウェブサイトにてご覧いただけます。
http://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/download.html

表紙

トップメッセージ

バリューチェーンにおける持続可能な社会の実現に向けた取り組み

令和を記念した「布巻きロースハム」など新発売

～今冬ギフト、オンラインショップのご案内～

今冬のカタログ「19W 米久のお歳暮」では、米久で長年受け継がれてきた伝統の「布巻きロースハム」を令和ラベルでお届けいたします。また、米久の指定農場「キロサ牧場」で育った「みちのく奥羽牛」を使用した「みちのく奥羽牛サーロインローストビーフ」を発売いたしました。200セット限定でご案内しています。

米久公式オンラインショップ「米久-eショップ」でも米久の商品をお買い求めいただけます。品数も豊富に取り揃え、お買い得商品もございますのでぜひご利用ください。

米久-eショップ	http://www.yonekyu-eshop.jp/

六穀豚（国産）ロース肉使用
布巻きロースハム

みちのく奥羽牛
サーロインローストビーフ

物流システムでモーダルシフトの取り組みを開始

当社グループでは、昨今のドライバー不足や拘束時間問題への対策としてモーダルシフトに取り組んでいます。その第一弾として、キユーピー株式会社様の関東から九州への鉄道輸送便の帰り便を活用させていただき、低温度帯で伊藤ハムウエスト九州工場が製造した商品の輸送に取り組んでいます。この取り組みにより、1回あたりのトラック輸送距離が94.7%削減、CO_2排出量が91%削減されました。また、今後は鉄道を利用しての常温物流や冷凍コンテナでのラウンド輸送、チルド温度帯にも挑戦していく予定です。

モーダルシフトとは

トラックなどの自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換することをいいます。

コンテナはトレーラーと鉄道で運ばれます

配送センターで荷物を積み込みます

伊藤ハムと米久のおいしいPR届けます

伊藤ハム　yonekyu

主力商品「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュ®シリーズ」のキャンペーンを展開

伊藤ハムは、熟成ウインナー市場購買金額でシェアNo.1※を獲得している「The GRAND アルトバイエルン」の熟成が醸し出す「コクと深み」を広く認知いただくため、テレビCMでの訴求や、“雪室熟成和牛”“熟成ハム「九州」”などが抽選で当たるほか、No.1マーク15枚で“ビール共通券(350ml 2缶)”が絶対にもらえる「熟成キャンペーン」を実施いたしました。また、いとうあさこさんのテレビCMが好評の「朝のフレッシュ®シリーズ」をご愛顧いただいているお客様に、絶対もらえる“たまご券”や“ル・クルーゼ食器セット”“キリントロピカーナエッセンシャルズ”が当たる、「朝ハムで笑顔の食卓キャンペーン」を展開いたしました。

※2018年1月～12月　金額集計(全国)熟成ウインナー市場　ブランド別伊藤ハム調べ
(㈱マクロミルQPRデータより)

2019年10月「スーパーブー®BOOホワイトあらびき」のテレビCM放映とともに、増量キャンペーンを実施いたしました。テレビCMでは、謎のイケメン「ニック」が登場し、オシャレなアレンジメニューで、料理の具材となるスーパーBOOの魅力を表現しています。今後も料理の具材として夕食メニューを展開していきます。

会社概要

商号	伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 (英文名：ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.)
事業内容	食肉加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売、調理加工食品、惣菜類の製造及び販売などを行うグループ内傘下子会社の経営管理及びこれに付帯する一切の業務
本社所在地	東京都目黒区三田1丁目6番21号
設立	2016年4月1日
資本金	300億円（1億円未満切り捨て）
従業員数	8,109名（連結）

取締役

取締役会長	小川　広通	
代表取締役社長	宮下　功	
代表取締役副社長	柴山　育朗	品質保証担当 グループ生産事業・R&D担当 伊藤ハム(株)代表取締役社長
取締役常務執行役員	堀内　朗久	米久㈱代表取締役社長 営業本部長
取締役常務執行役員	伊藤　勝弘	コーポレート担当(経理財務・総務・人事) コンプライアンス担当 伊藤ハム(株)専務取締役 管理本部長
取締役執行役員	山口　研	グループ食肉事業担当 伊藤ハム(株)常務取締役 食肉事業本部長
取締役執行役員	米田　雅行	伊藤ハム(株)常務取締役 加工食品事業本部長
取締役（社外）	市毛　由美子	
取締役（社外）	伊藤　綾	

監査役

常勤監査役	土屋　昌樹
監査役（社外）	今村　昭文
監査役（社外）	市東　康男
監査役（社外）	市川　一郎

株式の状況

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	297,355,059株
株主数	44,132名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱商事株式会社	115,779	39.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,799	4.67
公益財団法人伊藤記念財団	12,000	4.06
エス企画株式会社	10,339	3.50
株式会社三菱UFJ銀行	6,303	2.13
株式会社三井住友銀行	6,303	2.13
公益財団法人伊藤文化財団	6,200	2.10
株式会社みずほ銀行	5,043	1.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,754	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,782	0.94

(注) 1.上記の持株数は千株未満を切り捨てにて記載しております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を長期間保有していただくため、株主優待制度を導入しております。

対象　毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上を保有する株主様を対象といたします。

優待内容　5,000円相当の当社グループ商品を贈呈いたします。

贈呈時期　2020年6月中旬を予定しております。

※写真はイメージですので、商品の内容は一部変更になる場合がございます。

◆受け取り辞退に伴う寄付の実施

社会貢献活動の一環として、優待品の受け取り辞退を申し出られた株主様につきましては、優待品の発送に代えて5,000円を日本赤十字社へ寄付させていただいております。

＜本年度の寄付実施結果＞ 寄付金額：740,000円

株式事務のご案内	株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	電話照会先	0120-782-031

UD FONT　VEGETABLE OIL INK